

温室効果ガス削減アクションプログラム

第二計画期間

温室効果ガス削減計画書等作成支援ツール

操作マニュアル

【特定事業者（事業所）】

2024年4月

仙台市

目次

ツール概要	1
<削減計画書作成時の操作手順>	2
操作1:「はじめに」シート入力時の操作手順	2
操作2:「事業所排出量内訳(基準年度)」シート入力時の操作手順	4
操作3:「計画書①(事業所概要・目標)」シート入力時の操作手順	12
操作4:「計画書②(取組)」シート入力時の操作手順	13
操作5:「計画書③(任意記載)」シート入力時の操作手順	14
<削減報告書作成時の操作手順>	15
操作1:事業所排出量内訳(第1~3年度)シート入力時の操作手順	17
操作2:「報告書①(事業所概要・実績)」シート入力時の操作手順	21
操作3:「報告書②(取組)」シート入力時の操作手順	23
操作4:「報告書③(任意記載)」シート入力時の操作手順	28

ツール概要

本ツールは、特定事業者が温室効果ガス削減アクションプログラムにおいて、計画書・報告書での温室効果ガス排出量算定や削減計画等の作成を支援します。シートへの記入方法については「事業者温室効果ガス削減計画書等作成の手引き」を参照してください。

シートの色ごとに作業が分かれています。

- ・黄色シート→まずこのシートから操作します。
- ・青色シート→削減計画書作成時に操作します。
- ・緑色シート→削減報告書作成時に操作します。
- ・赤色シート→基本的に操作はしませんが、評価点を確認することができます。


<削減計画書作成時の操作手順>

操作1:「はじめに」シート入力時の操作手順

1. 「はじめに」シートの入力欄(水色)にデータを入力します。

計画期間	2023	年	～	2025	年								
基準年度	2022	年											
提出年月日		年		月		日							
法人の名称													
法人の所在地													
代表者の職・氏名													
代理者の職・氏名													
条例第2条第5号イ	<input checked="" type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所											
条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くいずれかの物質の温室効果ガス排出量が3,000トン以上の事業所											
条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を所有する運送事業者											
一般事業者	<input type="checkbox"/>	④任意提出事業者											
事業所の名称													
事業所の所在地	〒		-										
産業分類番号													
事業の概要													
従業員数				人									
延べ床面積				m ²									
所属部署													
住所	〒		-										
氏名													
電話番号													
FAX番号													
Eメールアドレス													
提出対象年度	第		年度										
提出年月日		年		月		日							

2. 「Enter」キー押下し入力データが確定するとセルの色が水色から白色に変わります。
 入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

計画期間	2023	年	~	2025	年	計画期間	2023	年	~	2025	年		
基準年度	2022	年				基準年度	2022	年					
提出年月日	2023	年	4	月	2	提出年月日	2023	年	4	月	2		
法人の名称	株式会社 仙台物産						株式会社 仙台物産						
法人の所在地													
代表者の職・氏名													
代理者の職・氏名													
条例第2条第5号イ	<input checked="" type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が1,5					条例第2条第5号イ	<input checked="" type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が1,5				
条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くいずれも3,000トン以上の事業所					条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くいずれも3,000トン以上の事業所				
条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を所有					条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を所有				
一般事業者	<input type="checkbox"/>	④任意提出事業者					一般事業者	<input type="checkbox"/>	④任意提出事業者				

操作 2 : 「事業所排出量内訳 (基準年度)」 シート入力時の操作手順

温室効果ガス排出量内訳 基準年度 (2022年度) 非公表

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
原油 (コンデンセートを除く。)				kl		
原油のうちコンデンセート(NGL)				kl		
揮発油				kl		
ナフサ				kl		
ジェット燃料油				kl		
灯油				kl		
軽油				kl		
A重油				kl		
B・C重油				kl		
石油アスファルト				t		
石油コークス				t		
石油ガス						
液化石油ガス (LPG)				千Nm ³		
石油系炭化水素ガス				千Nm ³		
可燃性天然ガス				千Nm ³		
その他可燃性天然ガス				千Nm ³		
石炭				t		
原料炭				t		
コークス用原料炭				t		
灰化用原料炭				t		
一般炭				t		
高炉一般炭				t		
輸入無煙炭				t		
石炭コークス				t		
コールタール				千Nm ³		
コークス炉ガス				千Nm ³		
高炉ガス				千Nm ³		
発電用高炉ガス				千Nm ³		
転炉ガス				千Nm ³		
都市ガス				千Nm ³		
テナント空調等稼働計画				GJ		
その他 ()				GJ		
小 計						

非化石燃料の種類

非化石燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
炭素				t		
木材				t		
木質繊維材				t		
バイオエタノール				kl		
バイオディーゼーゼル				kl		
バイオガス				千m ³		
その他バイオマス				t		
RDF				t		
SRF				t		
廃タイヤ				t		
廃プラスチック				t		
一般廃棄物				t		
産業廃棄物				t		
廃油				kl		
産業廃棄物ガス				千m ³		
混合素材				t		
水素				t		
アンモニア				t		
その他 ()						
小 計						

熱

熱の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
産業用蒸気				GJ		
うち化石				GJ		
産業用以外の蒸気				GJ		
うち化石				GJ		
温水				GJ		
うち化石				GJ		
冷水				GJ		
うち化石				GJ		
その他 ()				GJ		
うち化石				GJ		
その他				GJ		
地熱				GJ		
温泉熱				GJ		
太陽熱				GJ		
雷水熱				GJ		
その他 ()				GJ		
うち化石				GJ		
小 計				GJ		

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

熱源合計	0 GJ	排出量	0 t-CO ₂
原油換算	0 KL		
排出量合計	0 t-CO ₂		

燃料等の種類	熱量内訳	うち非化石熱量	非化石割合
化石燃料	0 GJ		
非化石燃料	0 GJ		
熱	0 GJ		
熱源合計 (電気以外)	0 GJ		

燃料等の種類	電気使用量	うち非化石電気使用量	非化石割合
電気	0 kWh		

非化石エネルギーの使用割合		その他非化石エネルギー等	
---------------	--	--------------	--

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

排出量合計	0 t-CO ₂
-------	---------------------

3. クレジット等による削減量

削減量合計	0 t-CO ₂
-------	---------------------

4. 原単位の指標

排出原単位	0 t-CO ₂ /
-------	-----------------------

テナント空調等稼働計画	換算係数	排出係数

その他の名称	換算係数	排出係数

熱の種類	換算係数	排出係数
産業用以外の蒸気		
温水		
冷水		

その他の名称	換算係数	排出係数
うち化石		

その他使用した熱 (非化石熱)	換算係数
地熱	
温泉熱	
太陽熱	
雷水熱	
その他 ()	

※赤枠欄ヘデータを入力します。赤枠欄ヘデータ入力しても、セルの色は変化しませんので、ご注意ください。

<5>

電気の種別	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出係数 (t-CO ₂)
電気事業者からの買電				千kWh		
- 経路買電				千kWh		
- 直接買電				千kWh		
- その他				千kWh		
上記以外の買電				千kWh		
- その他				千kWh		
自家発電				千kWh		
自家消費した化石燃料				千kWh		
- その他				千kWh		
小計	0	0	0	千kWh		0

<3>

電気事業者からの買電 電気事業者名	経路買電 (千kWh)	直接買電 (千kWh)	うち化石 (%)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	経路排出量 (t-CO ₂)	直接排出量 (t-CO ₂)
合計						

<6>

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂ e)
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)	
メタン (CH ₄)	
一酸化二窒素 (N ₂ O)	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	
パーフルオロカーボン (PFC)	
六フッ化硫黄 (SF ₆)	
三フッ化窒素 (NF ₃)	
合計	

<4>

上記以外の買電	買電 (千kWh)	うち化石 (%)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
オフサイト型PPA					3.600	
自己託送 (非燃料由来の化石燃料)					3.600	
上記以外の自己託送					8.640	
その他買電						
- その他					9.760	
合計					9.760	
自家発電						
- その他						
自家消費した化石燃料						
- 太陽光					3.600	
- 水力					3.600	
- 風力					3.600	
- その他 (非燃料由来の化石)					3.600	
合計					0	

<7>

3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	削減量 (t-CO ₂ e)
合計	

<8>

4. 原単位の指標

原単位の指標 (分母)	指標
名称	
単位	
数値	

拡大図<1>

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO2) 排出量

燃料の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)		
化石燃料	原油 (コンデンセートを除く。)	①			kl				
	原油のうちコンデンセート(NGL)				kl				
	揮発油				kl				
	ナフサ				kl				
	ジェット燃料油				kl				
	灯油				kl				
	軽油				kl				
	A重油				kl				
	B・C重油				kl				
	石油アスファルト				t				
	石油コークス				t				
	石油ガス				液化石油ガス (LPG)	t			
					石油系炭化水素ガス	千Nm ³			
	可燃性天然ガス				液化天然ガス (LNG)	t			
					その他可燃性天然ガス	千Nm ³			
	石炭				原料炭	輸入原料炭	t		
						コークス用原料炭	t		
						吹込用原料炭	t		
					一般炭	輸入一般炭	t		
						国産一般炭	t		
	輸入無煙炭				t				
	石炭コークス				t				
	コールタール				t				
	コークス炉ガス				千Nm ³				
	高炉ガス				千Nm ³				
	発電用高炉ガス				千Nm ³				
	転炉ガス				千Nm ³				
都市ガス	千m ³								
テナント空調等推計値	GJ				②				
その他 ()									
小計	-	-			0	0			
非化石燃料の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)		
非化石燃料	黒液	①			t				
	木材				t				
	木質廃材				t				
	バイオエタノール				kl				
	バイオディーゼル				kl				
	バイオガス				千m ³				
	その他バイオマス				t				
	RDF				t				
	RPF				t				
	廃タイヤ				t				
	廃プラスチック				一般廃棄物	t			
					産業廃棄物	t			
	廃油				kl				
	廃棄物ガス				千m ³				
	混合廃材				t				
	水素				t				
	アンモニア				t				
その他 ()									
小計	-	-			0	0			

その他の名称	③	換算係数	排出係数
--------	---	------	------

その他の名称	③	換算係数	排出係数
--------	---	------	------

- ①年間の使用量を燃料別に入力します。
- ②テナント空調等推計値を使用している場合、“排出量”を入力します。
- ③①以外に燃料を使用している場合、“その他の名称”“換算係数”“排出係数”等を入力します。
- ④③についての“使用量”“外部供給量”“単位”“熱量”“排出量”を入力します。

拡大図<2>

熱の種類			使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
熱	他者から購入した熱	産業用蒸気	①			GJ		
		うち非化石				GJ		④
		産業用以外の蒸気				GJ		④
		うち非化石				GJ		④
		温水				GJ		④
		うち非化石				GJ		④
	その他()	冷水			GJ		④	
		うち非化石			GJ		④	
		その他 ()			GJ	⑤		
		うち非化石			GJ	⑤		
その他(非化石熱)	地熱	①			GJ			
	温泉熱				GJ			
	太陽熱				GJ	⑥		
	雪氷熱				GJ			
	その他 ()				GJ			
	うち非化石 小計			0	0	0	GJ	0
小計			0	0	0	GJ	0	

その他の名称	換算係数	排出係数
⑤		
うち非化石		

その他使用した熱(非化石熱)		換算係数
地熱		
温泉熱		
太陽熱		
雪氷熱		
⑥		

- ④産業用以外の蒸気、温水、冷水を使用している場合、“排出量”を入力します。
- ⑤その他の熱を使用している場合、“その他の名称”“換算係数”“排出係数”を入力し、“熱量”“排出量”を入力します。うち非化石においては“熱量”を入力します。
- ⑥その他使用した熱（非化石熱）を使用している場合、“使用した熱の名称”“換算係数”“熱量”を入力します。

拡大図<3>

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (kWh)	夜間買電量 (kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO ₂ /kWh)	昼間排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
	⑦					
合計						

⑦契約している“電気事業者”とその電気事業者からの“買電量”“うち非化石”“排出係数”を入力します。なお、“電気事業者”と“排出係数”は「排出係数検索ツール」にて検索した結果を貼り付けます。「排出係数ツール」の使い方はP.11に示します。

※電気事業者の非化石電気の割合は、特定の電力メニュー契約等の場合には、当該メニューの非化石証書等の使用割合を元に記入してください。非化石〇〇%メニューといった特定の電力メニュー契約等に関しては、当該割合を記入してください。

拡大図<4>

上記以外の買電	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)	
オフサイト型PPA	⑧	/	/	/	3.600	/	
自己託送 (非燃料由来の非化石電気)	/	/	/	/	3.600	/	
上記以外の自己託送	/	⑨	/	/	8.640	/	
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
	/	/	⑩	/	/	9.760	/
合計	/	/	/	/	9.760	/	

	売電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)
自家発電	/	/	⑪	/

自家消費した非化石電気	使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)
太陽光	/	3.600
水力	⑫	3.600
風力	/	3.600
その他 (非燃料由来の非化石)	/	3.600
合計	0	/

- ⑧上記以外の買電のうち、オフサイト型 PPA、自己託送（非燃料由来の非化石電気）がある場合、“買電量”を入力します。
- ⑨上記以外の買電のうち、上記以外の自己託送がある場合、“買電量” “うち非化石” “排出係数”を入力します。
- ⑩上記以外の買電のうち、その他買電がある場合、“名称” “買電量” “うち非化石” “排出係数”を入力します。
- ⑪自家発電による実績がある場合、“売電量” “換算係数” “排出係数”を入力します。
- ⑫自家消費した非化石電気のうち、太陽光、水力、風力、その他（非燃料由来の非化石電気）の使用量がある場合、“使用量”を入力します。

拡大図<5>

電気の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電 気	電気事業者からの買電	/	/	/	千kWh	/	/
	昼間買電量	/	/	/	千kWh	/	/
	夜間買電量	/	/	/	千kWh	/	/
	うち非化石	/	/	/	千kWh	/	/
	上記以外の買電	/	/	⑬	千kWh	/	/
	うち非化石	/	/	/	千kWh	/	/
	自家発電	/	/	/	千kWh	/	/
自家消費した非化石電気	/	/	/	千kWh	/	/	
	うち非化石 小計	/	/	/	千kWh	/	/
	小計	0	0	0	千kWh	0	0

⑬⑦～⑬⑫の合計値が転記されます。

拡大図<6>

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂)
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)	⑭
メタン (CH ₄)	
一酸化二窒素 (N ₂ O)	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	
パーフルオロカーボン (PFC)	
六フッ化硫黄 (SF ₆)	
三フッ化窒素 (NF ₃)	
合 計	

⑭エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量がある場合、“排出量”を入力します。

拡大図<7>

3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	排出量 (t-CO ₂)
⑮	
合 計	

拡大図<8>

4. 原単位の指標

原単位の指標 (分母)	
名称	⑯
単位	
数値	

⑮クレジット等による削減量がある場合、“クレジット等の種類”と“削減量”を入力します。

⑯原単位の指標となる“名称”“単位”“数値”を入力します。

⑰入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

<排出係数ツールの使い方>

電気事業者名
入力欄 ① ② 検索 13件見つかりました

<入力時のポイント>
キーワードとなる電気事業者名の**一部**を入力して下さい。
※(株)、「株式会社」を入力しないでください。
※アルファベットの全角/半角は問いません。

③ 電気事業者名	排出係数
東京電力エナジーパートナー(株)メニューA	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューB	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューC	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューD	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューE	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューF	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューG	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューH	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューI	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューJ	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューK	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューL(残差)	0.390000

操作手順

- ① 電気事業者名入力欄へ電気事業者名を入力して下さい。
- ② 「検索」ボタンを押して下さい。
該当する電気事業者名と排出係数が表示されます。
- ③ 転記する電気事業者名を選択して下さい。
同じ電気事業者でも、契約しているプランにより、排出係数が異なる場合があります。
再生可能エネルギー電力を活用したメニューで契約の場合は、電力事業者を確認し、メニューを選択して下さい。
それ以外の場合は、(残差)と記載されているメニューを選択して下さい。
- ④ 電気事業者名と排出係数をコピーして下さい。
- ⑤ 転記先の報告書作成支援ツールファイルへ移動して下さい。
- ⑥ 該年度の「事務所排出量内訳」シートを選択して下さい。
- ⑦ 「電気事業者名」欄と「排出係数」欄へコピーしたデータを貼付けて下さい。

※赤枠にキーワードを入力し、その検索結果が緑枠に表示されます。

電気事業者名
入力欄 ① ② 検索 13件見つかりました

<入力時のポイント>
キーワードとなる電気事業者名の**一**
※(株)、「株式会社」を入力しないで
※アルファベットの全角/半角は問

③ 電気事業者名	排出係数
東京電力エナジーパートナー(株)メニューA	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューB	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューC	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューD	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューE	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューF	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューG	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューH	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューI	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューJ	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューK	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューL(残差)	0.390000

操作手順

- ① 電気事業者名入力欄へ電気
- ② 「検索」ボタンを押下して
該当する電気事業者名と排出
- ③ 転記する電気事業者名を選
同じ電気事業者でも、契約して
再生可能エネルギー電力を活用
電力事業者を確認し、メニュー
それ以外の場合は、(残差)と
- ④ 電気事業者名と排出係数を
- ⑤ 転記先の報告書作成支援ツ
- ⑥ 該年度の「事務所排出量
- ⑦ 「電気事業者名」欄と「排

<事業所排出量内訳(基準年度)シート>

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	昼間排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
④				④		
合計						

- ①電気事業者名入力欄へ電力会社名を入力します。
- ②「検索」ボタンをクリックします。
- ③表示された検索結果の中から、契約している電気事業者及びメニューを選択します。
- ④前述 P.8 のとおり、計画書・報告支援ツールの「事業所排出量内訳(基準年度)」シートに検索結果の電気事業者名及び排出係数の情報を転記します。

操作 3：「計画書①（事業所概要・目標）」シート入力時の操作手順

事業者温室効果ガス削減計画書（第二計画期間）

1 事業所の概要

事業者の名称				
事業所の名称				
事業所の所在地	①			
主たる業種				
事業所の規模等	従業員数	人	延床面積	m

2 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

②

3 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

②

①「はじめに」シートで入力した内容が転記されます。

②“基本方針”及び“組織体制”を入力します。

4 温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る目標

2022年度 (基準年度)	温室効果ガスの排出の状況	基準排出量	③	基準原単位	0	t-CO ₂ /
2025年度 (目標年度)	温室効果ガス排出抑制に係る目標	目標排出量	④	目標原単位		t-CO ₂ /
		削減率	⑤	削減率		%
2025年度 (目標年度)	非化石エネルギーの使用目標割合	非化石電気	⑥	その他非化石エネルギー等		%
		⑦				
目標設定の考え方						

③事業所排出量内訳(基準年度)シートから転記されます。

④最終年度時の“目標排出量”及び“目標原単位”を入力します。

⑤基準の排出量に対して目標排出量の削減率が表示されます。

- ⑥非化石電気及びその他非化石エネルギー等の“使用目標割合”を入力します。
- ⑦④で記載した最終年度時の目標排出量及び目標原単位に関して、“目標設定の考え方”を入力します。
- ⑧入力項目を確認して、次の操作に進んでください。

操作 4：「計画書②(取組)」シート入力時の操作手順

5の1 重点的に実施する取組の実施計画（基本対策）

番号	項目	対策内容	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。	①	
2	エネルギー消費機器管理台帳の整備	主要なエネルギー消費機器について管理台帳が整備されている。管理台帳が随時更新されている。		
3	管理標準（管理マニュアル）の整備	主要なエネルギー消費機器について管理標準が整備されている。主要なエネルギー消費機器が管理標準に基づき運用され、必要な記録がある。管理標準が必要により更新されている。		

拡大図

実施状況 (基準年度)	実	実施予定
実施済 未実施 非該当		第1年度 第2年度 第3年度 予定なし

- ① 5の1（基本対策）の実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。

5の2 重点的に実施する取組の実施計画（選択対策）

番号	項目	対策内容	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	②		②	
2				

拡大図

番号	項目
38	1
39	1

外資系による省エネ設備
 生産性管理
 エネルギー効率向上の見える化（機
 エネルギー効率向上の見える化（分
 ホイールの運転効率管理
 4 ホイールの給水及びアローの管理
 高圧トランスの管理
 工業用設備の維持管理

- ② 5の2（選択対策）の項目、実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。

5の3 重点的に実施する取組の実施計画（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容（自由記述）	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	③	④	③	
2				

拡大図

番号	項目
62	1
63	1

環境マネジメントシステムの導入
 SBTやRE100等の国際的な目標
 経営者の目標設定の明確化、公
 環境教育・学習の推進（従業員
 環境教育・学習の推進
 森林の保全・緑化の推進
 伊ーン製造の実績
 力・ボンス社の実施

- ③ 5の3（その他の対策）の項目、実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。
- ④ “具体的な取組内容”を入力します。
- ⑤入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

操作 5 : 「計画書③ (任意記載)」 シート入力時の操作手順

参考 1 これまで実施した削減対策の実績 (詳細)

番号	対策内容	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂ /年)	写真
1				
2				

対策に係る写真があれば
ここに貼付

参考 2 計画期間内に実施を予定している削減対策 (詳細)

番号	対策内容	実施予定 年度	推計削減量 (t-CO ₂ /年)	写真
1				
2				

対策に係る写真があれば
ここに貼付

記載事項がある場合、赤枠欄へデータを入力します。

また、対策に係る写真がある場合には、写真欄に貼付します。

<削減報告書作成時の操作手順>

温室効果ガス排出量内訳 基準年度 (2022年度) 非公表

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (CO ₂)
原油 (コンデンセートを除く)				kl		
原油のうちコンデンセート(NGL)				kl		
揮発油				kl		
ナフサ				kl		
ジェット燃料油				kl		
灯油				kl		
軽油				kl		
A重油				kl		
B・C重油				kl		
石油アスファルト				t		
石油コークス				t		
石油ガス						
液化石油ガス (LPG)				千Nm ³		
石油系炭化水素ガス						
液化天然ガス (LNG)				t		
可燃性天然ガス				千Nm ³		
その他可燃性天然ガス						
石炭						
原料炭				t		
輸入原料炭				t		
コークス用原料炭				t		
吹込用原料炭				t		
一般炭				t		
輸入一般炭				t		
国産一般炭				t		
輸入無煙炭				t		
石炭コークス				t		
コールタール				t		
コークス炉ガス				千Nm ³		
炭粉ガス				千Nm ³		
発電用炭粉ガス				千Nm ³		
転炉ガス				千Nm ³		
都市ガス				千m ³		
テナント空調等稼働計値				GJ		
その他 ()				GJ		
小 計						

非化石燃料の種類

非化石燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
炭素				t		
木材				t		
木質炭材				t		
バイオエタノール				kl		
バイオディーゼル				kl		
バイオガス				千m ³		
その他バイオマス				t		
RDF				t		
RPF				t		
炭タイヤ				t		
炭プラスチック						
一般廃棄物				t		
産業廃棄物				t		
廃油				kl		
廃棄物ガス				千m ³		
合金炭材				t		
水素				t		
アンモニア				t		
その他 ()						
小 計						

熱の種類

熱の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
産業用蒸気				GJ		
他						
から						
産業用以外の蒸気				GJ		
湯水				GJ		
購入した						
湯水				GJ		
冷水				GJ		
熱				GJ		
その他 ()				GJ		
湯水				GJ		
その他						
地熱				GJ		
その他				GJ		
温泉熱				GJ		
太陽熱				GJ		
風力熱				GJ		
水力熱				GJ		
その他 ()				GJ		
うち化石石 小 計				GJ		
小 計				GJ		

<1>

<2>

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

熱量合計	0 GJ
原油換算	0 KL
排出量合計	0 t-CO ₂

燃料等の種類

燃料等の種類	熱量内訳	うち化石石熱量	非化石石割合
化石燃料	0 GJ		
非化石燃料	0 GJ		
熱	0 GJ		
熱量合計 (電気以外)	0 GJ		

燃料等の種類

燃料等の種類	電気使用量	うち非化石電気使用量	非化石石割合
電気	0 kWh		

非化石エネルギーの使用割合

非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	その他非化石エネルギー等
---------------	-------	--------------

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

排出量合計	0 t-CO ₂
-------	---------------------

3. クレジット等による削減量

削減量合計	0 t-CO ₂
-------	---------------------

温室効果ガス総排出量

温室効果ガス総排出量	0 t-CO ₂
------------	---------------------

4. 原単位の指標

排出原単位	0 t-CO ₂ /
-------	-----------------------

テナント空調等稼働計値

テナント空調等稼働計値	換算係数	排出係数
その他の名称		

熱の種類

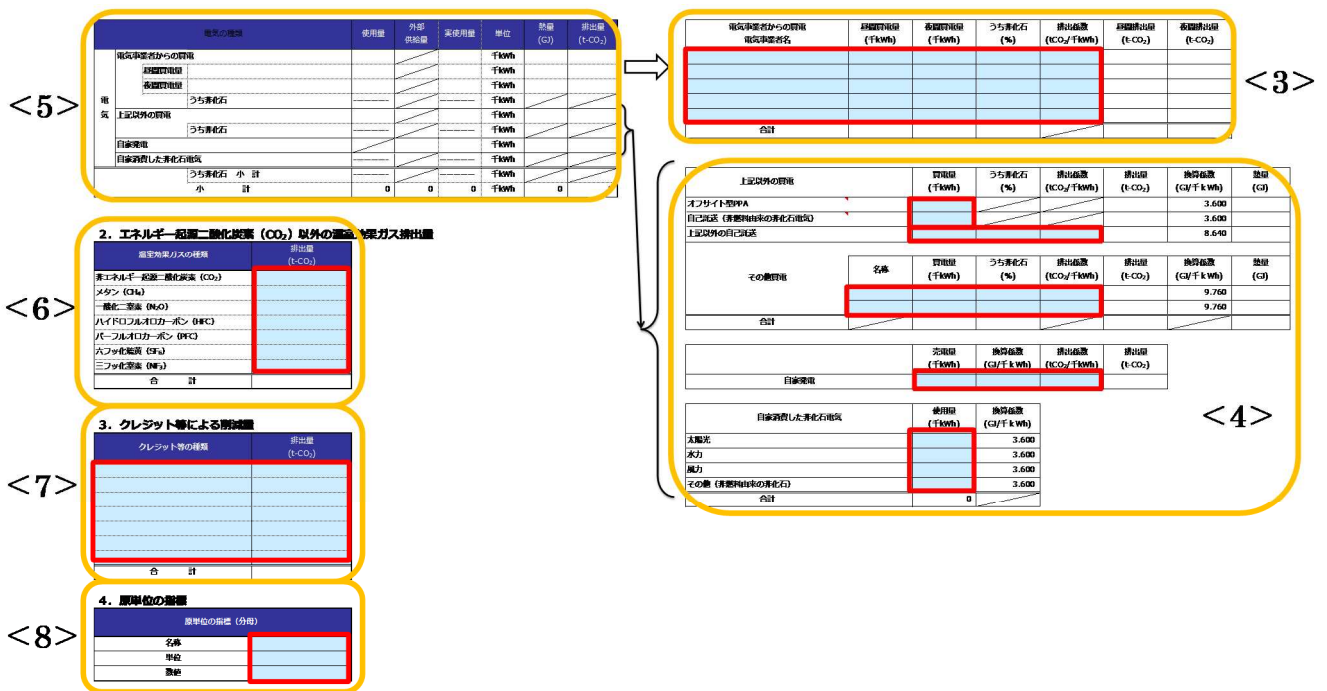
熱の種類	換算係数	排出係数
産業用以外の蒸気		
湯水		
冷水		
その他 ()		
うち化石石		

その他使用した熱 (非化石熱)

その他使用した熱 (非化石熱)	換算係数
地熱	
温泉熱	
太陽熱	
風力熱	
水力熱	
その他 ()	

<1>

<2>



※事業所排出量内訳シート(緑色)ヘデータを入力します。赤枠欄ヘデータ入力しても、セルの色は変化しませんので、ご注意ください。

操作 1：事業所排出量内訳（第 1～3 年度）シート入力時の操作手順

拡大図<1>

1. エネルギー起源二酸化炭素（CO2）排出量

燃料の種類			使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)			
化石燃料	原油（コンデンセートを除く。）		①			kl					
	原油のうちコンデンセート(NGL)					kl					
	揮発油					kl					
	ナフサ					kl					
	ジェット燃料油					kl					
	灯油					kl					
	軽油					kl					
	A重油					kl					
	B・C重油					kl					
	石油アスファルト					t					
	石油コークス					t					
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)						t			
		石油系炭化水素ガス						千Nm3			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)						t			
		その他可燃性天然ガス						千Nm3			
	石炭	原料炭				輸入原料炭			t		
						コークス用原料炭			t		
						吹込用原料炭			t		
		一般炭				輸入一般炭			t		
						国産一般炭			t		
	輸入無煙炭							t			
	石炭コークス							t			
	コールタール							t			
	コークス炉ガス							千Nm3			
	高炉ガス							千Nm3			
	発電用高炉ガス							千Nm3			
	転炉ガス							千Nm3			
都市ガス				千m3							
テナント空調等推計値				GJ		②					
その他 ()						④					
小 計			-	-	-	-	0	0			
非化石燃料の種類			使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)			
非化石燃料	黒液		①			t					
	木材					t					
	木質廃材					t					
	バイオエタノール					kl					
	バイオディーゼル					kl					
	バイオガス					千m ³					
	その他バイオマス					t					
	RDF					t					
	RPF					t					
	廃タイヤ					t					
	廃プラスチック	一般廃棄物				t					
		産業廃棄物				t					
	廃油					kl					
	廃棄物ガス					千m ³					
	混合廃材					t					
水素		t									
アンモニア		t									
その他 ()						④					
小 計			-	-	-	-	0	0			

その他の名称	換算係数	排出係数
③		

その他の名称	換算係数	排出係数
③		

- ①年間の使用量を燃料別に入力します。
- ②テナント空調等推計値を使用している場合、“排出量”を入力します。
- ③①以外に燃料を使用している場合、“その他の名称”“換算係数”“排出係数”を入力します。
- ④③についての“使用量”“外部供給量”“単位”“熱量”“排出量”を入力します。

拡大図<2>

熱の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
他者から購入した熱	産業用蒸気				GJ		
	うち非化石				GJ		
	産業用以外の蒸気				GJ		④
	うち非化石				GJ		
	温水	①			GJ		④
	うち非化石				GJ		
	冷水				GJ		④
	うち非化石				GJ		
	その他 ()				GJ		⑤
	うち非化石				GJ		
その他使用した熱 (非化石熱)	地熱				GJ		
	温泉熱				GJ		
	太陽熱	①			GJ	⑥	
	雪氷熱				GJ		
	その他 ()				GJ		
	うち非化石 小計	0	0	0	GJ	0	
小計	0	0	0	GJ	0		

その他の名称	換算係数	排出係数
うち非化石	⑤	

その他使用した熱 (非化石熱)		換算係数
地熱		
温泉熱		
太陽熱		
雪氷熱		
うち非化石 小計		⑥

- ④産業用以外の蒸気、温水、冷水を使用している場合、“排出量”を入力します。
- ⑤その他の熱を使用している場合、“その他の名称”“換算係数”“排出係数”を入力し、“熱量”“排出量”を入力します。うち非化石においては“熱量”を入力します。
- ⑥その他使用した熱 (非化石熱) を使用している場合、“使用した熱の名称”“換算係数”“熱量”を入力します。

拡大図<3>

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	昼間排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
	⑦					
合計						

- ⑦契約している“電気事業者”とその電気事業者からの“買電量”“うち非化石”“排出係数”を入力します。なお、“電気事業者”と“排出係数”は「排出係数検索ツール」にて検索した結果を貼り付けます。「排出係数ツール」の使い方はP. 11 に示します。
- ※電気事業者の非化石電気の割合は、特定の電力メニュー契約等の場合には、当該メニューの非化石証書等の使用割合を元に記入してください。非化石〇〇%メニューといった特定の電力メニュー契約等に関しては、当該割合を記入してください。

拡大図<4>

上記以外の買電	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)	
オフサイト型PPA	⑧				3.600		
自己託送（非燃料由来の非化石電気）					3.600		
上記以外の自己託送					8.640		
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
						9.760	
合計					9.760		

	売電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)
自家発電			⑪	

自家消費した非化石電気	使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)
太陽光		3.600
水力		3.600
風力		3.600
その他（非燃料由来の非化石）		3.600
合計	0	

- ⑧ 上記以外の買電のうち、オフサイト型 PPA、自己託送（非燃料由来の非化石電気）がある場合、“買電量”を入力します。
- ⑨ 上記以外の買電のうち、上記以外の自己託送がある場合、“買電量” “うち非化石” “排出係数”を入力します。
- ⑩ 上記以外の買電のうち、その他買電がある場合、“名称” “買電量” “うち非化石” “排出係数”を入力します。
- ⑪ 自家発電による実績がある場合、“売電量” “換算係数” “排出係数”を入力します。
- ⑫ 自家消費した非化石電気のうち、太陽光、水力、風力、その他（非燃料由来の非化石電気）の使用量がある場合、“使用量”を入力します。

拡大図<5>

電気の種類		使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電 気	電気事業者からの買電				千kWh		
	昼間買電量				千kWh		
	夜間買電量				千kWh		
	うち非化石				千kWh		
	上記以外の買電				千kWh		
	うち非化石				千kWh		
	自家発電				千kWh		
自家消費した非化石電気				千kWh			
	うち非化石 小計				千kWh		
	小計	0	0	0	千kWh	0	0

- ⑬ ⑦～⑫の合計値が転記されます。

拡大図<6>

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂)
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)	
メタン (CH ₄)	
一酸化二窒素 (N ₂ O)	⑭
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	
パーフルオロカーボン (PFC)	
六フッ化硫黄 (SF ₆)	
三フッ化窒素 (NF ₃)	
合 計	

⑭エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量がある場合、排出量を入力します。

拡大図<7>

3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	排出量 (t-CO ₂)
合 計	

4. 原単位の指標

原単位の指標 (分母)	
名称	
単位	
数値	⑯

⑮クレジット等による削減量がある場合、クレジット等の種類と削減量を入力します。

⑯原単位の指標となる“数値”を入力します。

⑰入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

操作 2：「報告書①（事業所概要・実績）」シート入力時の操作手順

事業者温室効果ガス削減報告書（第二計画期間） 第 年度分

1 事業所の概要

事業者の名称				
事業所の名称	①			
事業所の所在地				
主たる業種				
事業所の規模等	従業員数	人	延床面積	m ²

2 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

②

3 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

③

- ① 「はじめに」シートで入力した内容が転記されます。
- ② 計画書作成時に入力した内容が転記されます。
- ③ “組織体制”を入力します。計画書作成時より変更がない場合は「計画書①（事業所概要・目標）」シートの内容を転記してください。

4 温室効果ガスの排出の状況等

基準年度	2022年度	基準排出量	t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	2025年度	目標排出量	t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
		目標削減率	%	目標削減率 ④	%
	非化石エネルギーの使用目標割合	非化石電気	%	その他 非化石エネルギー等	%
第1年度	2023年度	排出量	t-CO ₂	⑤ 原単位	t-CO ₂ /
		削減率	%	⑥ 削減率	%
	非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	%	その他 非化石エネルギー等 ⑦	%
排出量等の増減理由	⑧				

- ④計画書作成時に入力した内容が転記されます。
- ⑤操作1で入力した内容が転記されます。
- ⑥基準の排出量に対して各年度の削減率が表示されます。
- ⑦操作1で入力した内容が転記されます。
- ⑧各年度の排出量の増減理由を入力します。
- ⑨入力項目を確認し、次の操作に進んでください。


操作 3：「報告書②（取組）」シート入力時の操作手順

次ページ以降の手順については、該当年度のシートを選択し、入力してください。

（第 1 年度、第 2 年度又は第 3 年度）

5の1 重点的に実施する取組の実施状況（基本対策）			実施状況	
番号	項目	対策内容	基準年度	第 1 年度
			1	エネルギー管理推進体制の整備
2	エネルギー消費機器管理台帳の整備	主要なエネルギー消費機器について管理台帳が整備されている。管理台帳が随時更新されている。		
3	管理標準（管理マニュアル）の整備	主要なエネルギー消費機器について管理標準が整備されている。主要なエネルギー消費機器が管理標準に基づき運用され、必要な記録がある。管理標準が必要により更新されている。		
4	エネルギー使用量の把握	主要なエネルギー使用先のエネルギー使用量を、エネルギー種類別に計測している。計測結果が集計され、記録されている。		
5	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的の実施し、実施記録を残している。		
6	ボイラー、工業炉の空気比の把握・管理	燃焼設備の空気比が定期的に把握され、基準空気比の範囲内で管理されている。空気比管理の記録が残されている。		
7	ボイラーの熱効率の把握・管理	ボイラーの熱効率が定期的に計算され、ボイラーの熱効率を高く維持する運用		
8	蒸気圧力・温度・供給量の管理	事業所内で使用する蒸気の必要な圧力、供給量を把握している。ボイラーを必要な圧力、供給量が確保できるように管理している。		

第 1 年度、第 2 年度又は第 3 年度



... 報告書①（事業所概要・実績） 報告書② 第1年度(取組) 報告書② 第2年度(取組) 報告書② 第3年度(取組) 報告書③

5の1 重点的に実施する取組の実施状況（基本対策）			実施状況	
番号	項目	対策内容	基準年度	第1年度
			1	エネルギー管理推進体制の整備
2	エネルギー消費機器管理台帳の整備	主要なエネルギー消費機器について管理台帳が整備されている。管理台帳が随時更新されている。		
3	管理標準（管理マニュアル）の整備	主要なエネルギー消費機器について管理標準が整備されている。主要なエネルギー消費機器が管理標準に基づき運用され、必要な記録がある。管理標準が必要により更新されている。	①	②
4	エネルギー使用量の把握	主要なエネルギー使用先のエネルギー使用量を、エネルギー種類別に計測している。計測結果が集計され、記録されている。		
5	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的実施し、実施記録を残している。		

①計画書作成時の内容が転記されます。

②各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

基本対策の実施状況に関する説明・特記事項など	
第1年度	③

③報告年度の基本対策の実施状況について入力します。

5の2 重点的に実施する取組の実施状況（選択対策）				
番号	項目	対策内容	実施状況	
			基準年度	第1年度
1	外部機関による省エネ診断	外部機関による省エネ診断を受診している。提案された対策の一部又は全部を実施している。 ④	実施済	一部実施済 ⑤
2	生産性管理	生産歩留まり改善のための検討や、業務の生産性改善のための検討を継続して実施している。	一部実施済	実施済

④計画書作成時の内容が記載されます

⑤各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

5の3 重点的に実施する取組の実施状況（その他の対策）				
番号	項目	具体的な取組内容	実施状況	
			基準年度	第1年度
1	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	自転車利用 ⑥	実施済	実施済 ⑦
2				

⑥計画書作成時の内容が記載されます。

⑦各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

⑧入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

○ 選択対策を追加する場合の入力方法

5の2 重点的に実施する取組の実施状況(選択対策)				実施状況		
番号	項目	対策内容	基準年度	第1年度	第2年度	選択対策 項目追加欄へ移動
1						
2						

① 「5の2 重点的に実施する取組の実施状況(選択対策)」の右側にある**選択対策項目追加欄へ移動**をクリックします。

5の2 重点的に実施する取組の実施状況(選択対策)				実施状況		
番号	項目	対策内容	基準年度	第1年度	第2年度	選択対策 実施状況欄へ移動
第2年度追加(選択対策)						
1	外部機関による省エネ診断					
2	ボイラーの運転効率管理					
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

② 追加する選択対策を、プルダウンリストから選択します。

③ 選択対策実施状況欄へ移動をクリックします。

5の2 重点的に実施する取組の実施状況(選択対策)				実施状況		
番号	項目	対策内容	基準年度	第1年度	第2年度	選択対策 実施状況欄へ移動
1	外部機関による省エネ診断	外部機関による省エネ診断を受診している。提案された対策の一部又は全部を実施している。			一部実施済	
2	ボイラーの運転効率管理	同一の蒸気配管系統に接続する複数のボイラーを台数制御運転するにあたり、高効率ボイラーに負荷を集約して運転している。ボイラー群のシステム効率を評価している。				

④ ②で選択した内容が転記されます。

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

○ その他の対策を追加する場合の入力方法

5の3 重点的に実施する取組の実施状況(その他の対策)

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況			その他の対策 項目追加欄へ移動
			基準年度	第1年度	第2年度	
1						
2						

① 「5の3 重点的に実施する取組の実施状況(その他の対策)」の右側にある**その他の対策項目追加欄へ移動**をクリックします。

第2年度追加(その他の対策)

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況
1	環境マネジメントシステムの導入	○○○○○ ...	
2	森林の保全・緑化の推進	○○○○○	
3			
4			
5			

② 追加するその他の対策をプルダウンリストから選択し、具体的な取組内容を記入します。

③ その他の対策実施状況欄へ移動をクリックします。

5の3 重点的に実施する取組の実施状況(その他の対策)

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況			その他の対策 項目追加欄へ移動
			基準年度	第1年度	第2年度	
1	環境マネジメントシステムの導入	○○○○○ ...			実施済	
2	森林の保全・緑化の推進	○○○○○ ...				
3						

④ ②で選択した内容が転記されます。

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

操作 4：「報告書③（任意記載）」シート入力時の操作手順

参考1 計画期間内に実施した削減対策（詳細）				
番号	対策内容	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂ /年)	写真
1				
2				

このページを印刷

対策に係る写真があれば
ここに貼付

記載事項がある場合、赤枠欄へデータを入力します。

また、対策に係る写真がある場合には、写真欄に貼付します。

担当：仙台市環境局 脱炭素都市推進部

脱炭素経営推進課 グリーン成長係

電話：022-214-8467

メールアドレス：action_program@city.sendai.jp

このパンフレットはリサイクルできます。「雑誌」に分別しましょう。